



ふるさととのいのちをつなぐ

「生物多様性こうち戦略」キックオフフォーラム

日 時： 平成26年6月9日(月)
13:30~16:30(開場13:00)

場 所： 高知県立県民文化ホール グリーンホール

入 場： 無料

申込み： 不要

- 第1部
「生物多様性こうち戦略について」 高知大学理学部教授 石川慎吾氏
「地域資源を活かした地域づくり」 てるはの森の会代表 河野耕三氏
- 第2部
パネルディスカッション 「水と自然と人と」
- ロビー展示 (写真展ほか)

主催 高知県(林業振興・環境部 環境共生課)

主 旨

高知県の資源であり貴重な財産である豊かな自然を、人の暮らしとの調和の中で守り、将来の子どもたちへとつないでゆくため、高知県では、平成26年3月に『ふるさとのいのちをつなぐこうちプラン～生物多様性こうち戦略～』を策定しました。

本来、「生物多様性」は私たちの暮らしと密接に関係しているものですが、言葉の難しさなどから、まだまだ馴染みが薄く、その重要性も十分に理解されているとはいえません。

このフォーラムでは、「生物多様性こうち戦略」を解きほぐすとともに、地域の自然を活かしながら、私たちが暮らし、発展していく方法について考えます。

プログラム

第1部 13:30-14:50

紹 介 「生物多様性こうち戦略」について
高知大学理学部教授 石川慎吾氏(元 生物多様性こうち戦略(仮称)策定検討委員長)

基調講演 「地域資源を活かした地域づくり」
一般社団法人てるはの森の会 代表理事 河野耕三氏
宮崎県綾町 照葉樹林文化推進専門監

河野氏プロフィール

1948年宮崎市青島生まれ。専門は植物社会学。県立高校の教員(生物)を退職後、現職に至る。

綾町は総面積(9,521ha)の80%を山地が占め、一次産業を軸に発展。綾町のシンボルでもある国内最大級の照葉樹林は、1967年には伐採計画が浮上するが、さまざまな取組みを経て、2012年7月に国内では32年ぶり、5箇所目となるユネスコエコパークに認定された。

河野氏は、照葉樹林を基盤とした循環型自然共生社会の実現や「綾の照葉樹林プロジェクト」などに携わり、綾町の地域づくりに大きく貢献された。その他、ユネスコエコパークに関する講演など、全国で活動を展開している。

第2部 15:00-16:30

パネルディスカッション テーマ 「水と自然と人と」

コーディネーター：石川慎吾氏

アドバイザー： 環境省自然環境局 自然環境計画課 生物多様性地球戦略企画室

パネリスト： 生物多様性×森・川 高橋 宣之氏 写真家
生物多様性×食 平塚 聖子氏 農家レストランしゃえんじり
生物多様性×生きもの 岩瀬 文人氏 高知生物多様性ネットワーク
生物多様性×川と地域づくり 木下 彰二氏 馬路村総務課長

会 場

日時／6月9日(月) 時間／13:30～16:30 開場13:00

場所／高知県立県民文化ホール グリーンホール 高知市本町4丁目3-30

*ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催 高知県林業振興・環境部環境共生課
(運営受託：四国生物多様性ネットワーク)

問い合わせ

環境共生課(担当：自然保護チーム) TEL/088-821-4868

Mail/030701@ken.pref.kochi.lg.jp

四国生物多様性ネットワーク TEL/090-6280-7668

Mail/info@ikimonokochi.com

URL <http://ikimonokochi.com>